

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年12月28日
【発行者名】	日興アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 村上 雅彦
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂九丁目7番1号
【事務連絡者氏名】	小濱 公哉
【電話番号】	03-6447-6147
【届出の対象とした募集内国投資信託 受益証券に係るファンドの名称】	日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド 資産成長型（米ドルコース）
【届出の対象とした募集内国投資信託 受益証券の金額】	継続募集額 上限5兆円
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成24年4月13日付をもって提出しました有価証券届出書（平成24年10月15日付で~~有価証券届出書の訂正届出書を提出済み~~。以下「原届出書」といいます。）において、スイッチング対象ファンドの追加に伴う記載事項の一部に訂正事項がありますのでこれを訂正するため、本訂正届出書を提出します。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部__は訂正部分を示し、<更新・追加>に記載している内容は原届出書が更新・追加されます。

第一部【証券情報】

(5) 申込手数料

スイッチング手数料

本書提出日現在、販売会社におけるスイッチング手数料はありません。

以下のファンド間でスイッチングを行なうことができます。

<訂正前>

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（米ドルコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（ブラジルリアルコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（南アフリカランドコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（トルコリラコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・ブラジルリアルコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・アジア通貨バスケットコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型（米ドルコース）
 （略）

<訂正後>

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（米ドルコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（ブラジルリアルコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（南アフリカランドコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（トルコリラコース）
~~日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（メキシコペソコース）*~~
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・ブラジルリアルコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・アジア通貨バスケットコース）
 日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型（米ドルコース）
*平成25年1月16日以降の取扱いとなります。
 （略）

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1 ファンドの性格

(1) ファンドの目的及び基本的性格

ファンドの目的

<訂正前>

主として、米ドル建ての新興国ソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

<訂正後>

主として、米ドル建ての新興国ソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

ファンドの基本的性格

（略）

<訂正前>

上記は、社団法人投資信託協会が定める分類方法に基づき記載しています。上記以外の商品分類および属性区分の定義につきましては、社団法人投資信託協会のホームページ (<http://www.toushin.or.jp/>) をご参照ください。

<訂正後>

上記は、社団法人投資信託協会が定める分類方法に基づき記載しています。上記以外の商品分類および属性区分の定義につきましては、社団法人投資信託協会のホームページ (<http://www.toushin.or.jp/>) をご参照ください。

平成25年1月4日付で、社団法人投資信託協会は「一般社団法人投資信託協会」となる予定です。

ファンドの特色

<更新・追加>

特長

1

**米ドル建ての新興国ソブリン債を中心に、幅広く分散投資を行ないます。
なお、組入債券は、米ドル以外の通貨建て債券を含む場合があります。**

※当ファンドは、PIMCOが運用するバミューダ籍外国投資信託と、日興アセットマネジメントが運用する証券投資信託「マネーオープン・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。

特長

2

8つの通貨コース*が選択できる毎月分配型(米ドルコース、円ヘッジコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、メキシコペソコース、対米ドル・ブラジルリアルコース、対米ドル・アジア通貨バスケットコース)と、資産成長型(米ドルコース)があり、全9コース間で無手数料でスイッチングが可能です。

※原則として毎月分配型は毎月(原則15日)、資産成長型は年1回(原則1月15日)決算を行ないます。

※「対米ドル・アジア通貨バスケットコース」は、中国人民幣元、インドネシアルピア、インドルピー、韓国ウォンに、均等に配分することを原則とします。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※「メキシコペソコース」のご購入、当該コースへのスイッチングは2013年1月16日以降に行なえます。

※「メキシコペソコース」の2013年2月決算は無分配とし、2013年3月の決算時から分配を行なうことをめざします。

特長

3

ビムコジャパンリミテッドに運用を委託します。

ビムコジャパンリミテッドは、米国債券運用最大手の一社であるPIMCO(パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー)の日本の拠点です。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

*8つの通貨コース

当ファンドが投資を行なう外国投資信託においては、主に米ドル建ての新興国ソブリン債に投資を行ないます。

さらに、円ヘッジコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、メキシコペソコースでは、米ドル売り/各コースの通貨買いの為替ヘッジ*を行ないます。

また、対米ドル・ブラジルリアルコース、対米ドル・アジア通貨バスケットコースでは、米ドル建ての新興国ソブリン債に円ヘッジを行ない、さらに、米ドル売り/各コースの通貨買いの為替取引を行ないます。

※為替ヘッジは、為替変動の影響を完全に排除できるわけではありません。

主要投資対象国

- 当ファンドは、主に米ドル建ての新興国のソブリン債に投資を行いません。
- 当ファンドは、「JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド」を参考指数としています。

投資対象となる主な新興国



主要国の国債利回り



※各国国債利回りは、米国、ドイツ、日本は残存5年の国債利回り、新興国はJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイドにおける各国の国債利回りです。「新興国の平均」は、同指数の最終利回りです。

※上記の国と実際の投資対象国は異なる場合があります。

※上記データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

<ご参考>ファンダメンタルズと信用力

- 新興国のファンダメンタルズと信用力は改善傾向にあります。

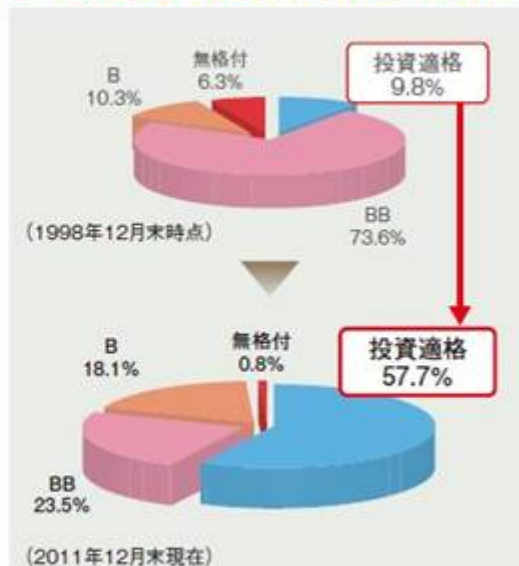
債券の信用格付と利回り



主要国の格付

(2012年10月末現在)		格付
先進国		
	ドイツ	AAA
	米国	AA+
	日本	AA-
新興国		
	新興国の平均	BBB-
	ポーランド	A
	ブラジル	A-
	メキシコ	A-
	南アフリカ	A-
	ロシア	BBB+
	コロンビア	BBB+
	ペルー	BBB+
	トルコ	BBB-
	フィリピン	BB+
	インドネシア	BB+
	ベネズエラ	B+
	ウクライナ	B+

新興国ソブリン債市場の格付別内訳



※各国の格付はスタンダード&プアーズ社が自国通貨建て長期債に付与しているものです。

※「新興国の平均」は、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイドの平均格付です。

※上記の国と実際の投資対象国が異なる場合があります。

※上記グラフデータは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※信頼できると判断したデータをもとにPIMCOが作成。

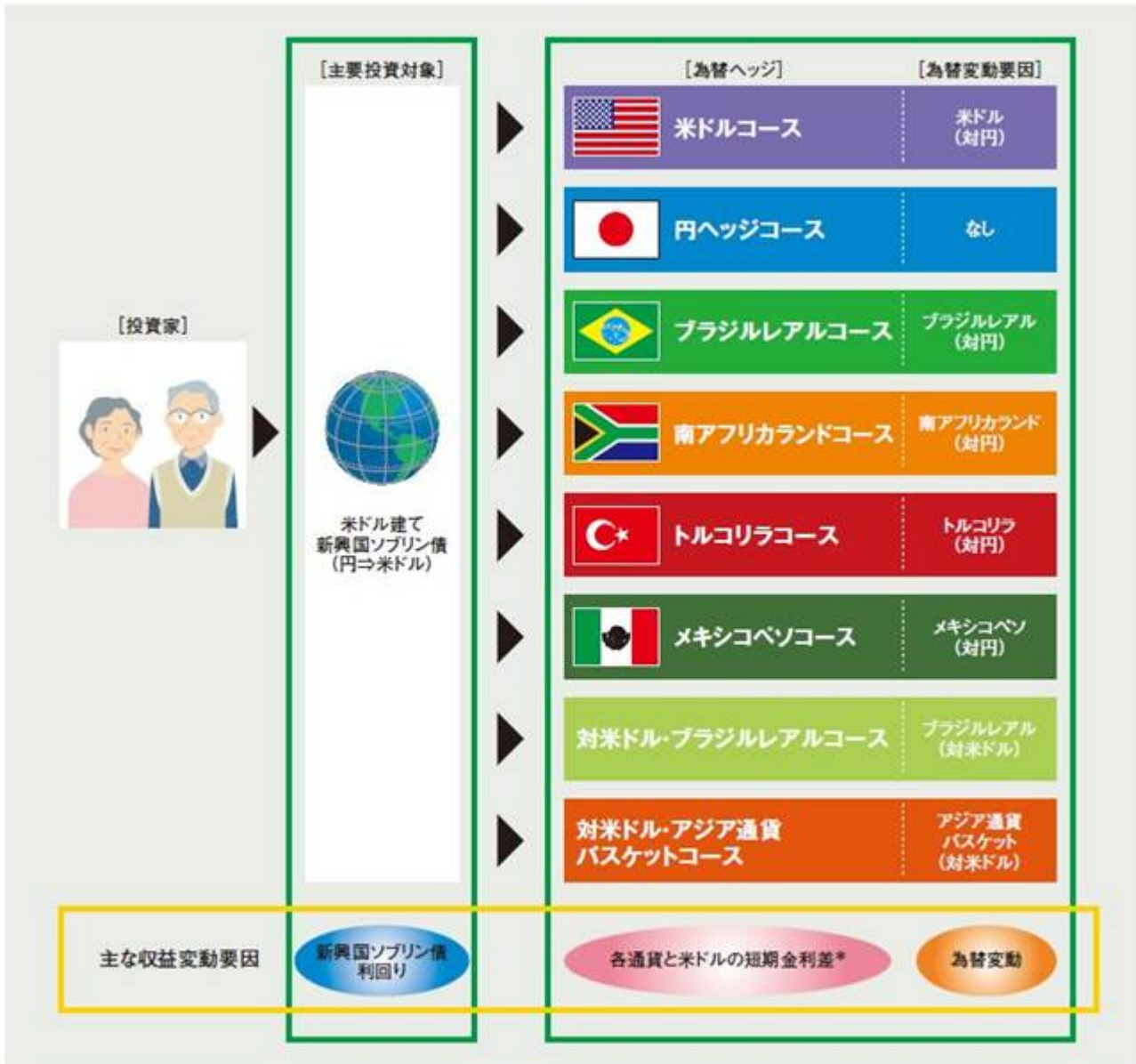
※投資適格とは、AAA～BBB格相当の格付を付与された債券を指します。

※表示単位未満の数値の四捨五入により、構成比率の合計が100%にならない場合があります。

8つの通貨コースについて

- 「ブラジルリアルコース」「南アフリカランドコース」「トルコリラコース」「メキシコペソコース」では、米ドル・ベース[※]での各新興国通貨買いの為替ヘッジを行いません。これにより、各コースは米ドル/円の変動に代えて、各新興国通貨/円の変動の影響を受けることになります。
- 「対米ドル・ブラジルリアルコース」「対米ドル・アジア通貨バスケットコース」では、原資産に円ヘッジを行なったうえで、各新興国通貨買い/米ドル売りの為替取引を行いません。

注:当ファンドの実質的な投資対象(原資産)が米ドル建て資産のため。



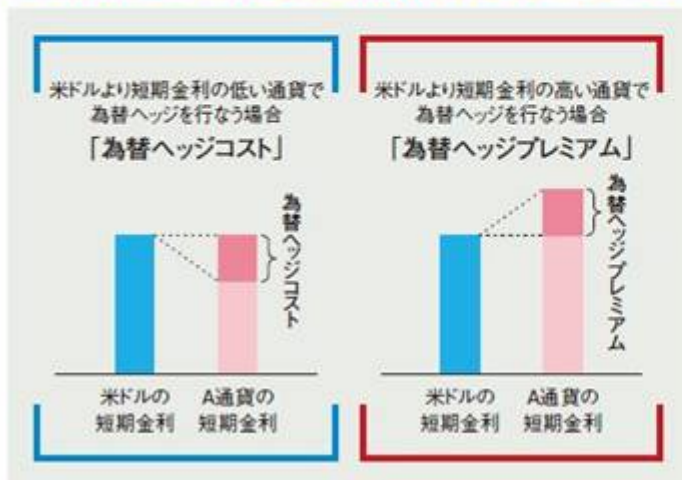
* 対米ドル・ブラジルリアルコースと対米ドル・アジア通貨バスケットコースは米ドルと円の金利差の影響も受けます。
 ※ 上記はイメージ図であり、実際と異なる場合があります。また、為替ヘッジは、為替変動の影響を完全に排除できるわけではありません。

各通貨と米ドルの短期金利差が及ぼす影響

- 米ドル建て資産をAという通貨で為替ヘッジする場合、両通貨の短期金利の交換も同時に行なわれます。その際、短期金利の差がマイナス(米ドル短期金利>A通貨の短期金利)の場合を「為替ヘッジコスト」、プラス(米ドル短期金利<A通貨の短期金利)の場合を「為替ヘッジプレミアム」と呼びます。

*為替ヘッジを完全に行なうことができるとは限らないため、短期金利差がプラスでもそれを十分に享受できない可能性があります。

(米ドル資産に対する)為替ヘッジコスト、ヘッジプレミアムのイメージ



変動する短期金利差

「為替ヘッジプレミアム」は、大きな魅力と考えられます。ただし、その水準は、両国通貨の短期金利の変化によって影響を受けるため、拡大することもあれば、その逆に縮小することも考えられます。さらに、将来、短期金利差が逆転し、「為替ヘッジコスト」となる可能性もあります。



※上記はイメージ図であり、実際の金利水準や将来の運用成果等を示すものではありません。

<ご参考> 主な収益変動要因

- 債券の売買損益や為替の損益の他に、米ドル建て新興国ソブリン債からの金利と、為替ヘッジコスト/為替ヘッジプレミアムを加えた部分が当ファンドの主な収益変動要因であり、分配金の原資になります。

米ドル建て新興国ソブリン債利回りと為替ヘッジコスト/為替ヘッジプレミアム



※為替ヘッジプレミアム(コスト)の水準は、各国通貨の短期金利の変化によって影響を受けます。


※米ドル建て新興国ソブリン債利回り:JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイドの最終利回り

※各国短期金利:米ドル、円ヘッジは1ヵ月Libor、ブラジルレアルはスワップ金利、南アフリカランド、トルコリラ、メキシコペソは銀行間金利、アジア通貨バスケットの金利はインドネシアルピア、インドルピー、中国人民元、韓国ウォンの銀行間金利を均等配分したもの。

※上記は当ファンドの金利水準や運用成果等を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因について

●各コースの基準価額には、主に以下のような変動要因があります。

↑ 基準価額の上昇要因 ↑		各コース	↓ 基準価額の下落要因 ↓	
米ドル建て 新興国債券の 利回り低下 (価格上昇)	円安/米ドル高	 資産成長型 (米ドルコース) 毎月分配型 (米ドルコース)	円高/米ドル安	米ドル建て 新興国債券の 利回り上昇 (価格下落)
	(円安/米ドル高でも プラスの影響はありません) 米ドル 短期金利 < 円短期金利	 毎月分配型 (円ヘッジ コース)	(円高/米ドル安でも マイナスの影響はありません) 米ドル 短期金利 > 円短期金利	
	円安/ブラジルレアル高 米ドル < ブラジルレアル 短期金利	 毎月分配型 (ブラジル レアルコース)	円高/ブラジルレアル安 米ドル > ブラジルレアル 短期金利	
	円安/南アフリカランド高 米ドル < 南アフリカランド 短期金利	 毎月分配型 (南アフリカ ランドコース)	円高/南アフリカランド安 米ドル > 南アフリカランド 短期金利	
	円安/トルコリラ高 米ドル < トルコリラ 短期金利	 毎月分配型 (トルコリラ コース)	円高/トルコリラ安 米ドル > トルコリラ 短期金利	
	円安/メキシコペソ高 米ドル < メキシコペソ 短期金利	 毎月分配型 (メキシコ ペソコース)	円高/メキシコペソ安 米ドル > メキシコペソ 短期金利	
	米ドル安/ブラジルレアル高 米ドル短期金利 < 円短期金利 米ドル短期金利 < ブラジルレアル 短期金利 (円安/米ドル高となっても 上昇要因とはなりません)	毎月分配型 (対米ドル・ ブラジルレアル コース)	米ドル高/ブラジルレアル安 米ドル短期金利 > 円短期金利 米ドル短期金利 > ブラジルレアル 短期金利 (円高/米ドル安となっても 下落要因とはなりません)	
米ドル安/アジア通貨高 米ドル短期金利 < 円短期金利 米ドル短期金利 < アジア通貨 バスケット金利 (円安/米ドル高となっても 上昇要因とはなりません)	毎月分配型 (対米ドル・アジア通貨 バスケットコース)	米ドル高/アジア通貨安 米ドル短期金利 > 円短期金利 米ドル短期金利 > アジア通貨 バスケット金利 (円高/米ドル安となっても 下落要因とはなりません)		
新興国の 信用格付の 引き上げ			新興国の 信用格付の 引き下げ	

※アジア通貨バスケット金利は、インドネシアルピア、インドルピー、中国人民元、韓国ウォンの短期金利を均等配分したものです。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

※上記は基準価額の主な変動要因の概要であり、ファンドの運用成果を約束するものでも、全ての変動要因を網羅したものでもありません。

※為替の影響については、米ドルコースを除く各コースの為替ヘッジの効果を前提としていますが、為替ヘッジを完全に行なうことができるとは限りません。

■主な投資制限

<毎月分配型(米ドルコース)、毎月分配型(円ヘッジコース)、毎月分配型(ブラジルリアルコース)、毎月分配型(南アフリカランドコース)、毎月分配型(トルコリラコース)、資産成長型(米ドルコース)>

- ・投資信託証券、短期社債等、コマーシャルペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。
- ・外貨建資産への直接投資は行ないません。

<毎月分配型(メキシコペソコース)、毎月分配型(対米ドル・ブラジルリアルコース)、毎月分配型(対米ドル・アジア通貨バスケットコース)>

- ・投資信託証券、短期社債等、コマーシャルペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。
- ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

■分配方針

<毎月分配型(米ドルコース)、毎月分配型(円ヘッジコース)、毎月分配型(ブラジルリアルコース)、毎月分配型(南アフリカランドコース)、毎月分配型(トルコリラコース)、毎月分配型(対米ドル・ブラジルリアルコース)、毎月分配型(対米ドル・アジア通貨バスケットコース)>

- ・毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

※「原則として、安定した分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況などによっては安定した分配とならない場合があることにご留意ください。

<資産成長型(米ドルコース)>

- ・毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<毎月分配型(メキシコペソコース)>

- ・第1計算期は収益分配を行いません。第2計算期以降、毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

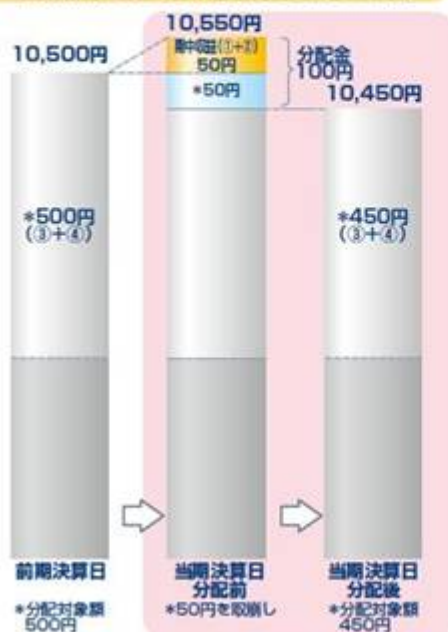
投資信託で分配金が支払われるイメージ



- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※ 元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。

- ・ 普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- ・ 元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

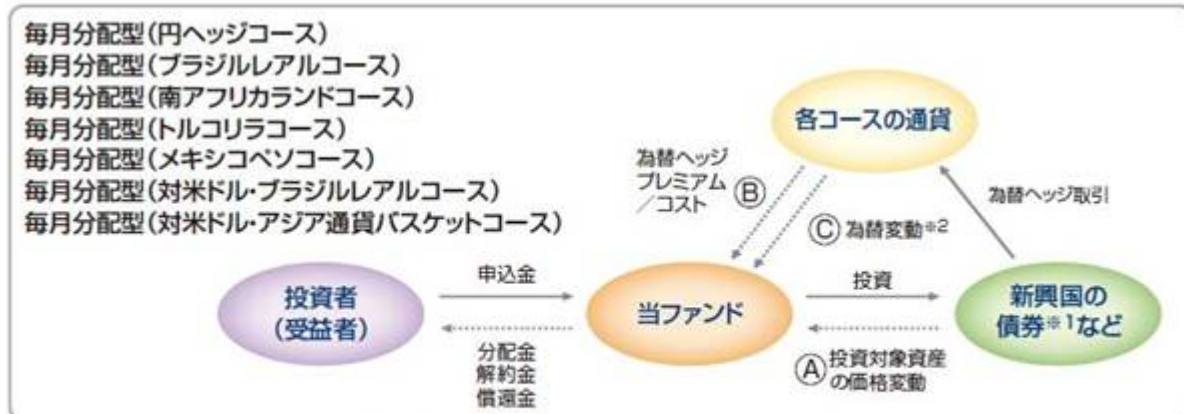
通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産（株式や債券など）の運用に加えて、為替ヘッジ取引による通貨の運用も行っており、為替ヘッジの対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



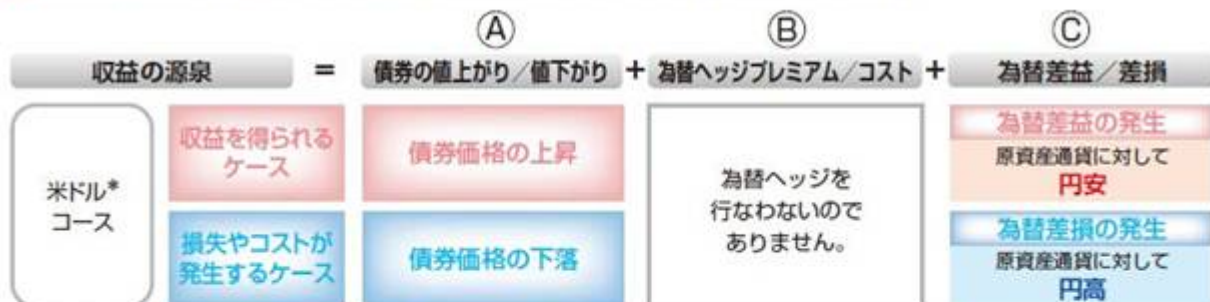
*毎月分配型(米ドルコース)および資産成長型(米ドルコース)



※1 当ファンドは、外国投資信託を通じて新興国の債券に投資を行います。

※2 円ヘッジコースは、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。



*毎月分配型(米ドルコース)および資産成長型(米ドルコース)



※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項は次ページもご確認ください。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項は前ページもご確認ください。

収益の源泉	=	① 債券の値上がり/値下がり	+	② 為替ヘッジプレミアム/コスト	+	③ 為替差益/差損	
毎月分配型 (ブラジルリアル コース) 毎月分配型 (南アフリカランド コース) 毎月分配型 (トルコリラ コース) 毎月分配型 (メキシコペソ コース)		収益を得られる ケース		債券価格の上昇		ヘッジプレミアムの発生 各コースの 通貨の金利 - 原資産通貨の 金利 が プラス	為替差益の発生 各コースの通貨に対して 円安
		損失やコストが 発生するケース		債券価格の下落		ヘッジコストの発生 各コースの 通貨の金利 - 原資産通貨の 金利 が マイナス	為替差損の発生 各コースの通貨に対して 円高

収益の源泉	=	① 債券の値上がり/値下がり	+	② 為替ヘッジプレミアム/コスト	+	③ 為替差益/差損	
毎月分配型 (対米ドル・ ブラジルリアル コース) 毎月分配型 (対米ドル・ アジア通貨 バスケット コース)		収益を得られる ケース		債券価格の上昇		ヘッジプレミアムの発生 各コースの 通貨の金利 - 米ドルの金利 円の金利 - 原資産通貨の 金利 が プラス	為替差益の発生 各コースの通貨に対して 米ドル安
		損失やコストが 発生するケース		債券価格の下落		ヘッジコストの発生 各コースの 通貨の金利 - 米ドルの金利 円の金利 - 原資産通貨の 金利 が マイナス	為替差損の発生 各コースの通貨に対して 米ドル高

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替ヘッジプレミアム/コストが、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。

(3) ファンドの仕組み

< 訂正前 >

委託会社の概況（平成24年7月末現在）
（略）

< 訂正後 >

委託会社の概況（平成24年10月末現在）
（略）

2 投資方針

(1) 投資方針

< 訂正前 >

- 以下の投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざし運用を行ないます。

（略）

< 訂正後 >

- 以下の投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざし運用を行ないます。

（略）

(2) 投資対象

投資対象とする投資信託証券の概要

（ご参考）

< PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド（M）USD >

< 訂正前 >

運用の基本方針	
基本方針	（略）
主な投資対象	（略）
投資方針	（略）
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> B格（ムーディーズ社、スタンダード&プアーズ社、フィッチ社による同等格の格付、またはこれらの格付会社による格付が無い場合でも、投資顧問会社が同等格の信用度を有すると認めたもの）未満の債券への投資は、ファンドの純資産総額の15%まで可能とします。 ファンドの平均デュレーションは、通常的环境下、8年を超えないものとします。 ファンドは、1発行体に資産の10%を限度として投資することができます。ただし、政府証券、政府機関証券などへの投資には制限を設けません。 原則として、ファンドの純資産総額の95%以上が実質米ドル資産となるように投資をします。 ファンドは、オプション取引、先物取引、スワップ取引などの派生商品に投資をします。 流動性の乏しい証券への投資は、ファンドの純資産総額の15%までとします。 ファンドは、少なくとも純資産総額の50%を、日本の金融商品取引法に定める「有価証券」の定義に該当する有価証券（企業または政府の債務証券、コマーシャル・ペーパーなど）および債券に係るデリバティブ商品に投資します。 ファンドは、全体のポートフォリオ運用戦略の一環として、または債券価格の下落を相殺するために、空売りを行なうことができます。ただし、ファンドの純資産総額の100%を超えないものとします。 資金の借入れの合計金額がファンドの純資産総額の10%を超える借入残高が生じる借入れは行なわないものとします。
収益分配	（略）

< 訂正後 >

運用の基本方針

基本方針	(略)
主な投資対象	(略)
投資方針	(略)
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none">・ B格（ムーディーズ社、スタンダード&プアーズ社、フィッチ社による同等格の格付、またはこれらの格付会社による格付が無い場合でも、投資顧問会社が同等格の信用度を有すると認めたもの）未満の債券への投資は、ファンドの純資産総額の15%まで可能とします。・ ファンドの平均デュレーションは、通常的环境下では、8年を超えないものとします。・ ファンドは、1発行体に資産の10%を限度として投資することができます。ただし、政府証券、政府機関証券などへの投資には制限を設けません。・ 原則として、ファンドの純資産総額の95%以上が実質米ドル資産となるように投資をします。・ ファンドは、オプション取引、先物取引、スワップ取引などの派生商品に投資をします。・ 流動性の乏しい証券への投資は、ファンドの純資産総額の15%までとします。・ ファンドは、全体のポートフォリオ運用戦略の一環として、または債券価格の下落を相殺するために、空売りを行なうことができます。ただし、ファンドの純資産総額の100%を超えないものとします。・ 資金の借入れの合計金額がファンドの純資産総額の10%を超える借入残高が生じる借入れは行なわないものとします。
収益分配	(略)

(3) 運用体制

<日興アセットマネジメント株式会社（委託会社）における運用体制>

<訂正前>

上記体制は平成24年7月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

<訂正後>

上記体制は平成24年10月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

3 投資リスク

(2) リスク管理体制

<日興アセットマネジメント株式会社（委託会社）におけるリスク管理体制>

<訂正前>

上記体制は平成24年7月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

<訂正後>

上記体制は平成24年10月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

4 手数料等及び税金

(1) 申込手数料

スイッチング手数料

本書提出日現在、販売会社におけるスイッチング手数料はありません。

以下のファンド間でスイッチングを行なうことができます。

<訂正前>

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（米ドルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（南アフリカランドコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（トルコリラコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・アジア通貨バスケットコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型（米ドルコース）
（略）

<訂正後>

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（米ドルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（南アフリカランドコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（トルコリラコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（メキシコペソコース）*
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・アジア通貨バスケットコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型（米ドルコース）
*平成25年1月16日以降の取扱いとなります。
（略）

(5) 課税上の取扱い

< 訂正前 >

上記は平成24年10月15日現在のものであり、税法が改正された場合などには、税率などの課税上の取扱いが変更になる場合があります。

(略)

< 訂正後 >

上記は平成24年12月28日現在のものであり、税法が改正された場合などには、税率などの課税上の取扱いが変更になる場合があります。

(略)

5【運用状況】

<更新・追加>

以下の運用状況は2012年10月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1) 投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	バミューダ	160,354,920	119.49
親投資信託受益証券	日本	134,876	0.10
コール・ローン等、その他資産(負債控除後)	-	26,286,033	19.59
合計(純資産総額)		134,203,763	100.00

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は額面総額	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
バミューダ	投資信託受益証券	PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド	25,960	6,067.6200	157,515,415	6,177	160,354,920	119.49
日本	親投資信託受益証券	マネー・オープン・マザーファンド	132,713	1.0154	134,757	1.0163	134,876	0.10

ロ. 種類別及び業種別の投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	119.49
親投資信託受益証券	0.10
合計	119.59

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(3) 運用実績
純資産の推移

期別		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		分配落ち	分配付き	分配落ち	分配付き
第1計算期間末	2009年 1月15日	2	2	0.9964	0.9964
第2計算期間末	2010年 1月15日	72	72	1.2912	1.2982
第3計算期間末	2011年 1月17日	78	78	1.3029	1.3099
第4計算期間末	2012年 1月16日	111	112	1.2556	1.2626
	2011年10月末日	117	-	1.2396	-
	11月末日	111	-	1.2576	-
	12月末日	117	-	1.2708	-
	2012年 1月末日	112	-	1.2621	-
	2月末日	120	-	1.3538	-
	3月末日	163	-	1.3909	-
	4月末日	163	-	1.3803	-
	5月末日	157	-	1.3303	-
	6月末日	161	-	1.3640	-
	7月末日	163	-	1.3892	-
	8月末日	161	-	1.4079	-
	9月末日	155	-	1.4073	-
	10月末日	134	-	1.4597	-

分配の推移

期	期間	1口当たりの分配金（円）
第1期	2008年11月12日～2009年 1月15日	0
第2期	2009年 1月16日～2010年 1月15日	0.0070
第3期	2010年 1月16日～2011年 1月17日	0.0070
第4期	2011年 1月18日～2012年 1月16日	0.0070
当中間期	2012年 1月17日～2012年 7月16日	-

収益率の推移

期	期間	収益率（％）
第1期	2008年11月12日～2009年 1月15日	0.36
第2期	2009年 1月16日～2010年 1月15日	30.29
第3期	2010年 1月16日～2011年 1月17日	1.45
第4期	2011年 1月18日～2012年 1月16日	3.09
当中間期	2012年 1月17日～2012年 7月16日	10.75

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち、以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

(4) 設定及び解約の実績

期	期間	設定口数（口）	解約口数（口）
第1期	2008年11月12日～2009年 1月15日	2,944,461	0
第2期	2009年 1月16日～2010年 1月15日	123,888,042	70,641,848
第3期	2010年 1月16日～2011年 1月17日	43,817,909	40,034,869
第4期	2011年 1月18日～2012年 1月16日	57,847,607	28,983,501
当中間期	2012年 1月17日～2012年 7月16日	40,573,983	10,599,316

(注)第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

(参考) マネー・オープン・マザーファンド

以下の運用状況は2012年10月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1) 投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計(円)	投資比率(%)
コール・ローン等、その他資産(負債控除後)	-	654,394,336	100.00
合計(純資産総額)		654,394,336	100.00

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

(参考情報)

運用実績(資産成長型(米ドルコース))

2012年10月31日現在

基準価額・純資産の推移



基準価額…………… 14,597円

純資産総額…………… 1.34億円

※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当りの値です。

※分配金込基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。

分配の推移(税引前、1万口当たり)

2009年1月	2010年1月	2011年1月	2012年1月	設定来累計
0円	70円	70円	70円	210円

主要な資産の状況

<資産別構成比率>

PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド	119.5%
マネー・オープン・マザー・ファンド	0.1%
現金その他	-19.6%

「PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンド」の状況

<債券ポートフォリオの概況>

債券比率	98%
現金その他	2%
組入銘柄数	466
平均デュレーション	6.88年
平均最終利回り	4.28%
平均格付	BBB-

<国別投資比率(上位10カ国)>

	国	比率
1	ブラジル	18.3%
2	ロシア	15.1%
3	メキシコ	6.9%
4	インドネシア	6.2%
5	トルコ	5.8%
6	ベネズエラ	4.6%
7	南アフリカ	3.7%
8	カザフスタン	3.6%
9	コロンビア	3.0%
10	フィリピン	3.0%

<通貨別構成比率>

	通貨	比率
1	米ドル	98%
2	ブラジルレアル	0%
3	その他	2%

※債券比率には債券とその他金融商品が含まれます。

※「通貨別構成比率」「国別投資比率」は、純資産総額に対する比率です。

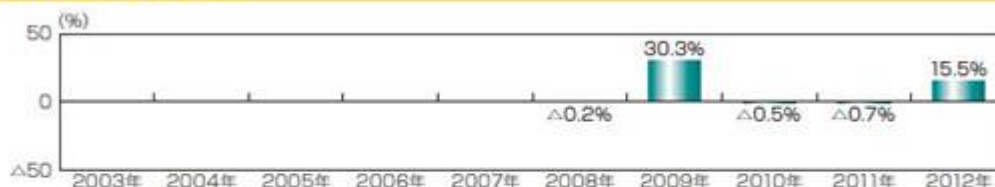
※格付は、S&P社、ムーディーズ社のものを原則としており、格付会社により格付が異なる場合は、高い方を採用しております。

※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

※「国別投資比率(上位10カ国)」は実質的に属する国に分類しています。

※上記は、PIMCOより提供された情報です。

年間収益率の推移



※ファンドの年間収益率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。

※当ファンドにはベンチマークはありません。

※2008年は、設定時から2008年末までの騰落率です。

※2012年は、2012年10月末までの騰落率です。

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

※ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示しています。

第2【管理及び運営】

1 申込（販売）手続等

(3) スイッチング

(略)

・以下のファンド間でスイッチングを行なうことができます。

<訂正前>

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（米ドルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（南アフリカランドコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（トルコリラコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・アジア通貨バスケットコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型（米ドルコース）
(略)

<訂正後>

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（米ドルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（南アフリカランドコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（トルコリラコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（メキシコペソコース）*
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・アジア通貨バスケットコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型（米ドルコース）
*平成25年1月16日以降の取扱いとなります。
(略)

(10) 受付の中止および取消

(略)

- ・委託会社は、当ファンドのスイッチング元となる以下のファンド（当ファンドを除きます。）が解約請求の実行を停止した場合で、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、解約請求の実行の停止を解除した後の最初の基準価額の計算日（この計算日が解約請求を受け付けない日であるときは、この計算日以降の最初の解約請求を受け付けることができる日とします。）に当該スイッチングの申込みを受け付けたものとして取り扱います

<訂正前>

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（米ドルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（南アフリカランドコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（トルコリラコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・アジア通貨バスケットコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型（米ドルコース）

<訂正後>

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（米ドルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（南アフリカランドコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（トルコリラコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（メキシコペソコース）*
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・アジア通貨バスケットコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型（米ドルコース）

*平成25年1月16日以降の取扱いとなります。

2 換金（解約）手続等

< 解約請求による換金 >

(9) 受付の中止および取消

(略)

- ・委託会社は、当ファンドのスイッチング先となる以下のファンド（当ファンドを除きます。）が取得の申込みの受付を行なわない措置を取ったときは、原則として当該スイッチングの受付を停止します。スイッチングの受付を停止した場合には、受益者は当該受付停止当日およびその前営業日のスイッチングの申込みを撤回できます。ただし、受益者がそのスイッチングの申込みを撤回しない場合には、当該受付停止を解除した後の最初の基準価額の計算日（この計算日が解約請求を受け付けられない日であるときは、この計算日以降の最初の解約請求を受け付けることができる日とします。）にスイッチングを受け付けたものとして取り扱います。

< 訂正前 >

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（米ドルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（南アフリカランドコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（トルコリラコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・アジア通貨バスケットコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型（米ドルコース）

< 訂正後 >

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（米ドルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（南アフリカランドコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（トルコリラコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（メキシコペソコース）*
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・ブラジルリアルコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（対米ドル・アジア通貨バスケットコース）
日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型（米ドルコース）

*平成25年1月16日以降の取扱いとなります。

3 資産管理等の概要

(1) 資産の評価

有価証券などの評価基準

<訂正前>

信託財産に属する資産については、法令および社団法人投資信託協会規則に従って時価評価します。

<訂正後>

信託財産に属する資産については、法令および社団法人投資信託協会規則に従って時価評価します。

平成25年1月4日付で、社団法人投資信託協会は「一般社団法人投資信託協会」となる予定です。

第3【ファンドの経理状況】

2【ファンドの現況】

<更新・追加>

以下のファンドの現況は2012年10月31日現在です。

純資産額計算書

資産総額	162,138,486 円
負債総額	27,934,723 円
純資産総額（ - ）	134,203,763 円
発行済口数	91,941,318 口
1口当たり純資産額（ / ）	1.4597 円

（参考）マネー・オープン・マザーファンド

純資産額計算書

資産総額	654,450,329 円
負債総額	55,993 円
純資産総額（ - ）	654,394,336 円
発行済口数	643,904,790 口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0163 円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

<更新・追加>

1 委託会社等の概況

(1) 資本金の額

平成24年10月末現在	資本金	17,363,045,900円
	発行可能株式総数	230,000,000株
	発行済株式総数	197,012,500株

過去5年間における主な資本金の増減

年月日	変更後（変更前）
平成20年6月23日	16,403,045,900円（16,287,728,400円）
平成21年10月1日	17,363,045,900円（16,403,045,900円）

(2) 会社の意思決定機関

・株主総会

取締役・監査役の選任および定款変更に係る決議などを行ないます。

毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において、その権利を行使することができる株主とみなし、毎年3月31日（事業年度の終了）から3ヶ月以内にこれを招集し、臨時株主総会は必要に応じてこれを招集します。

・取締役会

当社の業務執行を決定し、取締役の職務の執行について監督します。

10名以内の取締役で構成され、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までを任期とします。

取締役会はその決議をもって、代表取締役若干名を選定します。また、取締役中より取締役会長および取締役社長各1名、取締役副社長、専務取締役および常務取締役各若干名を定めることができます。

・監査役会

5名以内の監査役で構成され、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の最終の時までを任期とします。監査役会は、その決議をもって常勤の監査役を選定します。

（平成24年10月末現在）

（３）運用の意思決定プロセス

- 1．投資委員会にて、国内外の経済見通し、市況見通しおよび資産配分の基本方針を決定します。
- 2．各運用部門は、投資委員会の決定に基づき、個別資産および資産配分戦略に係る具体的な運用方針を策定します。
- 3．各運用部門のファンドマネージャーは、上記方針を受け、個別ファンドのガイドラインおよびそれぞれの運用方針に沿って、ポートフォリオを構築・管理します。
- 4．トレーディング部門は、社会的信用力、情報提供力、執行対応力において最適と判断し得る発注業者、発注方針などを決定します。その上で、トレーダーは、最良執行のプロセスに則り売買を執行します。
- 5．運用に関するリスク・パフォーマンスの評価と分析および法令など遵守状況のモニタリングとリスクの管理については、運用部門から独立したリスク管理／コンプライアンス業務担当部門が担当し、これを運用部門にフィードバックすることにより、適切な運用体制を維持できるように努めています。

（平成24年10月末現在）

2 事業の内容及び営業の概況

- ・「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行なっています。
- ・委託会社の運用する、平成24年10月末現在の投資信託などは次の通りです。

種 類	ファンド本数	純資産額 (単位：億円)
投資信託総合計	433	68,426
株式投資信託	368	54,932
単位型	44	1,244
追加型	324	53,687
公社債投資信託	65	13,494
単位型	48	570
追加型	17	12,923
投資法人合計	1	30